

Ver 1.1

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト計画書

プロジェクト名	延岡市有林間伐型 CO2 吸収プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	宮崎県延岡市長 首藤 正治 印

提出日 2011 年 2 月 9 日

受理日 2011 年 2 月 9 日

最終版提出日 2011 年 3 月 31 日

A: 参加者情報

プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	宮崎県 延岡市 (ミヤザキケン ハノカシ)		
住所	宮崎県延岡市東本小路2番地1		
代表者氏名	市長 首藤 正治	担当者氏名	斧 伸春
担当者所属	農林水産部農林畜産課	担当者役職	主任主事
担当者 E-mail	nourin@city.nobeoka.miyazaki.jp	担当者電話番号	0982-22-7018
プロジェクトでの役割	プロジェクト総括、森林所有者、森林管理(森林施業委託)		
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	プロジェクト代表者と同一		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	宮崎県 延岡地区森林組合 (ミヤザキケン ハノカチケンリンクミアイ)		
住所	宮崎県延岡市大武町787-1		
代表者氏名	代表理事組合長 米田 稔男	担当者氏名	岡田 文夫
担当者所属	森林整備課	担当者役職	森林整備課長
担当者 E-mail		担当者電話番号	0982-33-1257
プロジェクトでの役割	森林施業の実施(間伐業務受託) モニタリングの実施(測量等業務委託)		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	宮崎県 延岡市 (ミヤザキケン ハノカシ)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者	本プロジェクトは、延岡市有林を対象としているため、市有林の所有者であるプロジェクト代表者及びプロジェクト参加者との間で、ダブルカウントが起こらないよう十分に注意する。		

<p>ダブルカウントの防止措置内容</p>	<p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p>□ 以下の類似制度(電力における RPS 法を含む)に申請しています</p> <p style="margin-left: 40px;">類似制度名: _____</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="margin-left: 40px;">理由: _____</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p>□ 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p>■ 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p>
-----------------------	---

<p>ダブルカウントの防止措置内容</p>	<p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p>■ ホームページ ホームページ URL: <u>http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp</u></p> <p><input type="checkbox"/> 出版物（環境報告書/定期刊行物）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p>■ 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p>■ 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策）の策定義務対象者（都道府県）である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。</p> <p>制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p>
-----------------------	---

公的な報告・公表制度	該当なし。
自主的な報告・公表対象	地球温暖化対策の推進に関する法律第 20 条の 3 に基づき、延岡市地球温暖化防止対策計画を平成19年2月6日に改定し、温室効果ガス削減の目標値と目標達成度として、実績値を毎年度、市広報紙により公表することとしていることから、関係部局間で意思疎通を図り、本プロジェクトの間でダブルカウントが起こらないように十分に注意する。

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7:オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B:プロジェクト活動の概要①	
B.1 プロジェクト活動	項目
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>【目的】 延岡市は、平成5年に、地球にやさしい環境を次世代に引き継ぐため「地球環境保全都市」を宣言するなど、早くから地球環境保全を推奨している。特に、延岡市有林においては、計画的に下刈や間伐などの森林施業を実施し、水資源の涵養や生物多様性の保全など森林のもつ多面的機能の維持、増進に努めている。しかし、私有林も含め人工林は、材価の低迷及び林業従事者の高齢化等により、厳しい状況にある。</p> <p>このような中、森林の CO2 吸収機能に経済的かつ社会的価値を与えるJ-VER制度を活用し、間伐実施によりCo2 の吸収量を増大させることで得られるクレジットを収入財源として、利用可能な木材の搬出支援、のべおか産材を活用する木材の消費支援及び林業雇用創出につながる事業を展開し、山村地域の活性化を図る。</p> <p>更に、延岡市がJ-VER制度を率先して取り組むことにより、市民に対して、森林の適切な整備により得られる地球温暖化防止機能の発揮や低炭素社会の実現へ向けて啓発を行う。</p> <p>【内容】 延岡市が森林施業計画を策定している約 5,455.46haのうち、平成 20 年度から 22 年度に実施した間伐面積約 515.73haを対象として、Co2 吸収量を算定する。</p> <p>また、搬出可能な森林については、作業路を利用して間伐材を搬出し、用材または木質バイオマスとして利用する。</p>

B.1.2 プロジェクト実施前の状況

【森林の現況(森林タイプ(人工林、天然林の区別等)及び樹種別の面積が含まれていること)】

延岡市は、宮崎県最北部に位置し、東は日向灘に面し、北は大分県に隣接している。また、九州山地に源を發して東流する五ヶ瀬川、大分県から南流する北川、大崩山を源となす祝子川とが河口で合流し日向灘へと注いでいる。気候は、温暖多雨の南海型に属し、黒潮の影響により冬は暖かく、年間の平均気温は16℃前後で平野部では、年間を通してほとんど降雪はみられない。年間の降水量は 2,300mm を超えるが、冬場は晴天が続くことから、年間の日照時間は 2,100 時間を超える恵まれた気候となっている。

本市の総面積は、86,796haと九州で 2 番目の広さを有する。そのうち森林面積が 73,337haと市の総面積の 84.5%を占めている。森林面積のうち約 13%の 9,429haが国有林で、民有林は、63,908haの約 87%となっている。延岡市森林整備計画対象森林の民有林のうち人工林は、約 56.2%の 34,764haとなっている。人工林の主体となるスギ・ヒノキの面積は、26,989haで人工林面積の約 77.6%を占めており、本市の定める標準伐期齢(スギ 35 年生以上・ヒノキ 40 年生以上)を過ぎたスギ・ヒノキの面積にあつては、14,277haの 52.9%を超えており、皆伐の制限や木材利用(搬出)を考えた間伐施業の確立が喫緊の課題となっている。

市有林は、6,162haとなっているが、森林施業計画の対象森林 5,455.46haであり、表1のとおり森林現況となっている。

表1 (単位: ha, m³)

年齢区分		I～II	III～IV	V～VI	VII～VIII	IX～X	XI以上	計	
人工林	スギ	面積	11.14	55.06	110.36	442.13	496.77	290.14	1,405.60
		材積	197	9,820	31,244	160,366	203,459	133,487	538,573
	ヒノキ	面積	41.50	202.98	354.56	770.20	311.87	34.53	1,715.64
		材積	1,175	27,800	81,205	219,498	99,727	14,046	443,451
	マツ、トツバ	面積	43.51	32.69	109.12	84.71	540.21	133.45	943.69
		材積	350	1,610	10,585	11,730	131,755	35,427	191,457
	その他	面積	96.15	290.73	574.04	1,297.04	1,348.85	458.12	4,064.93
		材積	1,722	39,230	123,034	391,594	434,941	182,960	1,173,481
	小計	面積	22.40	72.19	62.31	177.07	518.56	218.79	1,071.32
		材積	441	3,771	6,839	24,296	81,471	38,497	155,315
天然林	面積							116.34	
伐採跡地	面積							42.99	
禁伐林	面積							159.88	
更新困難地等	面積								
合計	面積	118.55	362.92	636.35	1,474.11	1,867.41	676.91	5,455.46	
	材積	2,163	43,001	129,873	415,890	516,412	221,457	1,328,796	

また、プロジェクトにかかる間伐対象森林は、表1のうち 515.73ha であり、表2の森林状況となっている。

表2 (単位: ha, m³)

		I～II	III～IV	V～VI	VII～VIII	IX～X	XI以上	計
スギ	面積		9.20	24.44	71.90	78.07	11.31	194.92
	材積		1,779	7,200	23,014	32,318	5,500	69,811
ヒノキ	面積		50.86	100.78	135.61	33.56	0.00	320.81
	材積		7,547	23,765	36,376	10,892		78,580
計	面積	0.00	60.06	125.22	207.51	111.63	11.31	515.73
	材積	0	9,326	30,965	59,390	43,210	5,500	148,391

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

<R001 又は R002 の場合>

【間伐間隔】

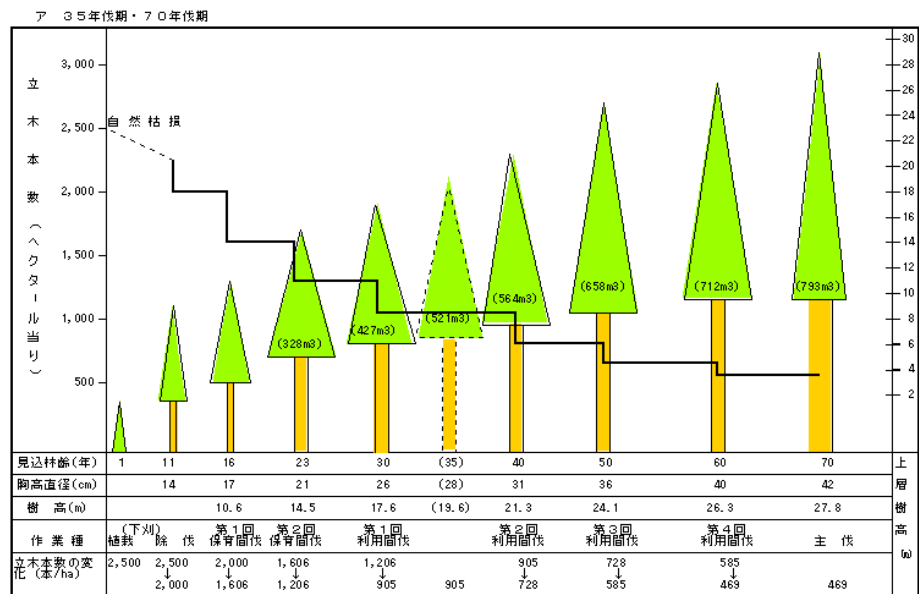
宮崎県長伐期施業技術指針及び延岡市森林整備計画を基本に、標準伐期齢を2倍程度延長して長伐期施業に転換し、主伐をスギ 70 年、ヒノキ 80 年に設定する。

資源の循環利用林では、立木の生育の促進、林分の健全化及び利用価値を高める。また、水土保持林では、水源の涵養機能、山地災害機能の維持増進を図るため、下層植生を育成しつつ適正な森林の立木蓄積を確保し、根系の発達を促すものとする。なお、表3及び図1を基本とした施業を実施する。

表3

樹種	間伐を実施すべき標準的な林齢				標準的な方法
	初回	2 回目	3 回目	4 回目	
スギ	13~17	18~22	12~28	30 年以降は概ね 10 年おきに実施する。	「宮崎県長伐期施業技術指針」により実施する。
ヒノキ	15~19	20~25	26~32	35 年以降は概ね 10 年おきに実施する。	「宮崎県長伐期施業技術指針」により実施する。

図1 育林体系図



【定量間伐か、定性間伐か】

利用可能な木材であり、かつ、搬出できる作業路が整備されている場合は、定量間伐とする。

標準伐期齢に至っていない森林は、定性間伐とする。

【間伐率】

間伐後の数量比数をおよそ 0.7~0.75 程度とする中庸仕立てを基本とした、宮崎県長伐期施業技術指針に基づき、間伐率 30%~25%の範囲内で実施する。

【その他の削減・吸収達成手段】

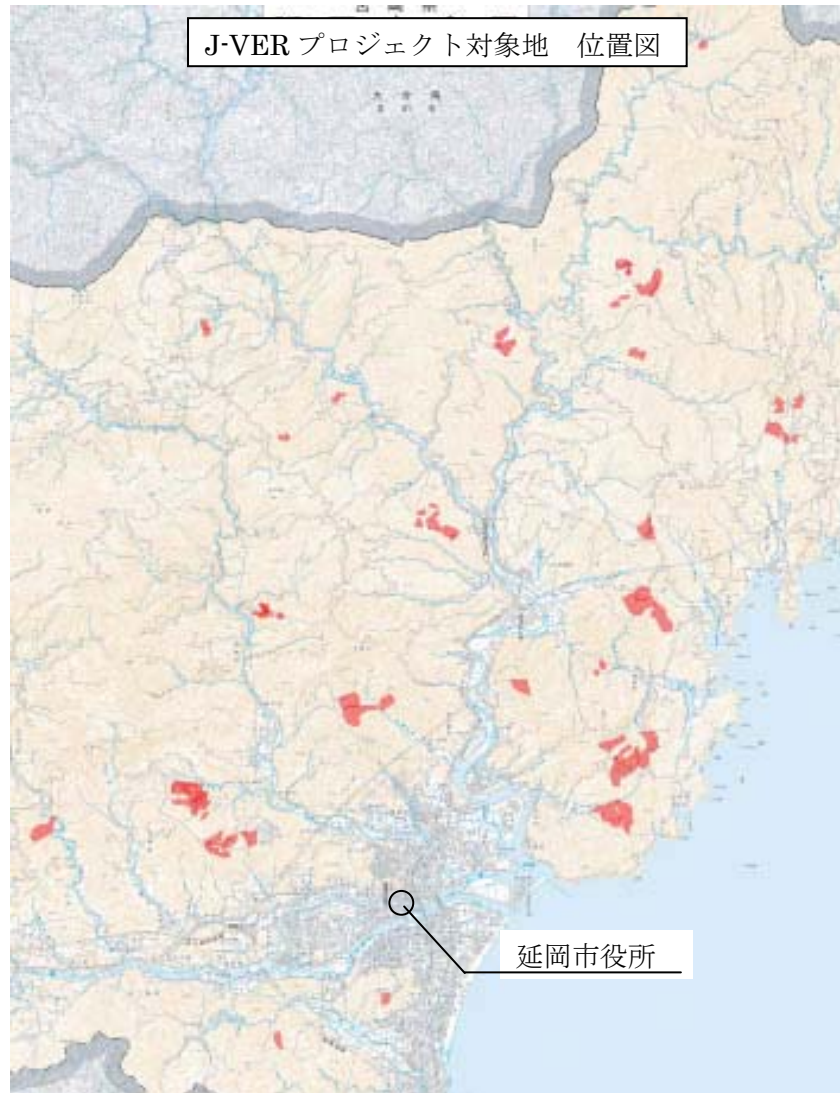
B.2 採用技術	プロジェクトで使用する設備・機器等 (プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))																																																																																																																					
	機器名	メーカー名																																																																																																																				
	耐用年数	導入時期																																																																																																																				
	備考																																																																																																																					
	ポケットコンパス S-32N	牛方商会 5年 H22.3.30 面積測量機																																																																																																																				
	パーテックスIV VERTEXIV	ハグロフ 5年 H16.1.31 樹高測定器																																																																																																																				
	はさみ尺	シンワ 5年 H20.1.31 胸高直径測定器 14cm未満 1cm 14cm以上 2cm 目盛																																																																																																																				
B.3 プロジェクト 実施場所	実施事業所名	地番は以下のとおり。																																																																																																																				
	住所	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>所 在</th> <th>林小班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市小野町大谷5587-2</td><td>33 ア 5 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市愛宕町愛宕山108-1</td><td>35 ア 8</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>71 ア 3</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>71 イ 4</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>71 イ 8</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>71 イ 9</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>72 イ 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>72 イ 2</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>72 イ 3</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>72 イ 5</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2</td><td>72 イ 8</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74-1</td><td>84 ア 10</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74</td><td>85 ア 4</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74</td><td>85 ア 5</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74</td><td>85 ア 14</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74</td><td>85 ア 16</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市宮長町宮ヶ谷74</td><td>85 ア 16 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市大峡町大峡7967-9</td><td>111 カ 4 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市大峡町大峡7967-9</td><td>111 カ 5</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市大峡町大峡7967-9</td><td>111 カ 6 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市大峡町大峡7967-9</td><td>111 カ 6 2</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市大峡町大峡山7966-1</td><td>114 ウ 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市須佐町大内山5268-1</td><td>118 イ 7</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>125 イ 19</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>125 イ 20</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>125 イ 21</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>125 イ 22</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷688-1</td><td>125 ウ 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷688-1</td><td>125 ウ 3</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷688-1</td><td>125 ウ 6</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>128 ア 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市追内町本谷684-1</td><td>128 ア 2</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市小川町黒仁田5137</td><td>173 オ 1 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市小川町黒仁田5137</td><td>173 オ 1 2</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市小川町黒仁田5137</td><td>173 オ 1 3</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市熊野江町川内1184</td><td>218 ア 1 1</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市熊野江町川内1184</td><td>218 ア 1 2</td></tr> <tr><td>延岡地区</td><td>延岡市熊野江町川内1184</td><td>218 イ 2</td></tr> </tbody> </table>	地区名	所 在	林小班	延岡地区	延岡市小野町大谷5587-2	33 ア 5 1	延岡地区	延岡市愛宕町愛宕山108-1	35 ア 8	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 ア 3	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 4	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 8	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 9	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 1	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 2	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 3	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 5	延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 8	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74-1	84 ア 10	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 4	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 5	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 14	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 16	延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 16 1	延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 4 1	延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 5	延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 6 1	延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 6 2	延岡地区	延岡市大峡町大峡山7966-1	114 ウ 1	延岡地区	延岡市須佐町大内山5268-1	118 イ 7	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 19	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 20	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 21	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 22	延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 1	延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 3	延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 6	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	128 ア 1	延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	128 ア 2	延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 1	延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 2	延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 3	延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	218 ア 1 1	延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	218 ア 1 2	延岡地区	延岡市熊野江町川内1184
地区名	所 在	林小班																																																																																																																				
延岡地区	延岡市小野町大谷5587-2	33 ア 5 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市愛宕町愛宕山108-1	35 ア 8																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 ア 3																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 4																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 8																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	71 イ 9																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 2																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 3																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 5																																																																																																																				
延岡地区	延岡市鹿狩瀬町岡富山1775-2	72 イ 8																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74-1	84 ア 10																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 4																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 5																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 14																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 16																																																																																																																				
延岡地区	延岡市宮長町宮ヶ谷74	85 ア 16 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 4 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 5																																																																																																																				
延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 6 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市大峡町大峡7967-9	111 カ 6 2																																																																																																																				
延岡地区	延岡市大峡町大峡山7966-1	114 ウ 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市須佐町大内山5268-1	118 イ 7																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 19																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 20																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 21																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	125 イ 22																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 3																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷688-1	125 ウ 6																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	128 ア 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市追内町本谷684-1	128 ア 2																																																																																																																				
延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 2																																																																																																																				
延岡地区	延岡市小川町黒仁田5137	173 オ 1 3																																																																																																																				
延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	218 ア 1 1																																																																																																																				
延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	218 ア 1 2																																																																																																																				
延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	218 イ 2																																																																																																																				

住所

地区名	所 在	林小班		
延岡地区	延岡市熊野江町川内1184	219	イ	14
延岡地区	延岡市浦城町仲畑564-イ	242	イ	1
延岡地区	延岡市浦城町仲畑564-イ	242	イ	2
延岡地区	延岡市浦城町仲畑565	242	イ	3
延岡地区	延岡市浦城町仲畑565	242	イ	4
延岡地区	延岡市浦城町仲畑565	242	イ	7
延岡地区	延岡市浦城町大谷571	244	エ	1 2
延岡地区	延岡市浦城町山ノ神850-2	247	オ	1 1
延岡地区	延岡市浦城町山ノ神859-1	247	オ	2
延岡地区	延岡市浦城町山ノ神859-1	247	オ	4
延岡地区	延岡市浦城町山ノ神859-1	247	オ	6 1
延岡地区	延岡市浦城町山ノ神859-1	247	オ	6 5
北川地区	北川町川内名 字 山瀬山 7436-3	54	イ	1
北川地区	北川町川内名 字 山瀬山 7436-3	54	イ	2 1
北川地区	北川町川内名 字 曾立山 6944-1	54	イ	3
北川地区	北川町川内名 字 曾立山 6944-1	54	イ	3 1
北川地区	北川町川内名 字 山瀬山 7434-4	54	イ	4
北川地区	北川町川内名 字 山瀬山 7434-4	54	イ	5
北川地区	北川町川内名 字 山瀬山 7434-1	54	ア	32
北川地区	北川町川内名 字 熊ヶ倉 8344-1	69	ア	3
北川地区	北川町川内名 字 久ヶ畑後山 8701-1	70	イ	1
北川地区	北川町川内名 字 久ヶ畑後山 8701-1	70	イ	2
北川地区	北川町川内名 字 二ツ滝山 9750-1	85	ア	14
北川地区	北川町川内名 字 井掛山 2317-1	133	オ	5
北川地区	北川町川内名 字 赤谷山 2277	134	ア	18
北川地区	北川町川内名 字 赤谷山 2277	134	ア	19
北川地区	北川町川内名 字 赤谷山 2277	134	ア	22
北川地区	北川町川内名 字 畑場口山 730	155	ア	75
北川地区	北川町川内名 字 白滝山 470	168	エ	38
北川地区	北川町川内名 字 葛ヶ内山 296-1	175	ア	5
北川地区	北川町川内名 字 葛ヶ内山 296-1	175	ア	6
北川地区	北川町川内名 字 葛ヶ内山 296-1	175	ア	7
北川地区	北川町川内名 字 葛ヶ内山 296-1	175	ア	7 1
北川地区	北川町川内名 字 葛ヶ内山 287	175	ア	8
北川地区	北川町川内名 字 コガノキ山 302-1	175	ア	11 1
北川地区	北川町川内名 字 コガノキ山 302-1	175	ア	12
北川地区	北川町川内名 字 コガノキ山 302-1	175	ア	13
北川地区	北川町川内名 字 コガノキ山 302-1	175	ア	14
北川地区	北川町川内名 字 コガノキ山 302-1	175	ア	44
北川地区	北川町川内名 字 アロウチ山 1644-1	176	ウ	35 3
北川地区	北川町川内名 字 アロウチ山 1644-1	176	ウ	37 1
北川地区	北川町川内名 字 下葛山 3784-1	183	イ	26
北川地区	北川町川内名 字 下葛山 3784-1	184	イ	22
北川地区	北川町川内名 字 山の神山 4086-1	187	イ	24
北川地区	北川町長井 字 風呂ヶ迫山 577	223	ア	5

(プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「プロジェクト申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)

基準点 (延岡市役所) N 32° 34' 56"
E 131° 39' 54"



概要

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間	2008年 4月 21日 ~ 2013年 3月 31日 (4年11ヶ月)						
B.5 クレジット期間 ※1	2008年 4月 21日 ~ 2013年 3月 31日						
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	合計
	t-CO2	1,453	2,549	3,357	3,341	3,244	13,944
B.7 モニタリング報告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 受給している / <input type="checkbox"/> 申請中 / <input type="checkbox"/> 検討中 / <input type="checkbox"/> 受給しない					
	補助事業名称	間伐等森林整備促進対策事業 森林整備事業					
	補助金額 (申請額含む)	63,642,166円					
	補助対象年月日	2008年4月1日 ~ 2013年3月31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助金受給事業については、資料を必ず添付すること) 資料1-S 参照					
B.9 他制度への申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	<p>① プロジェクトの吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因を特定する 森林火災、気象災害、森林病虫害、スキ・ヒキの面積の特定</p> <p>② 各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林火災 : 看板の設置や森林組合への指導等、森林火災のリスク軽減に努める。 ・ 気象災害 : 風倒木が発生した場合は、風倒木の処理を適切に行う。 ・ 森林病虫害 : 被害の早期発見に努める。なお、平成 21 年度には、市有林の全てを巡回し被害地状況を調査している。 ・ スキ・ヒキの面積の特定: スキ・ヒキの面積は、植栽本数により面積を算出しているが、モニタリング調査時にスキ・ヒキを林分毎に実測し、面積を確定する。 ・ 吸収量算定時に、面積の算定が困難な混交林がモニタリング時に発見された場合は、吸収量が低く算定される樹種・林齢等にて適切に算出することとする。 						

※1:クレジット期間は、2008年4月1日~2013年3月31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外の VER 制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u> ver. <u>4.1</u>
	条 件	説 明 ※1
	C.1.2 条件1	森林施業計画書(延岡市・北川町)を延岡市に提出して認定を受けた、森林法第5条に定める森林であること。
	C.1.3 条件2	<p>① 対象地については、資料 2 森林施業計画、資料3-1 森林施業図、資料3-2 航空写真により対象林分の位置を確認、森林施業計画内に収まっていること。</p> <p>② 対象地については、資料2森林施業計画の長期方針に基づき管理するものであり、土地転用・主伐は計画されていない。</p> <p>③ 対象地間伐については、延岡市森林整備計画に基づき行う。</p>
	C.1.4 条件3	<p>施業計画の認定番号 <u>延岡市 20-101</u> 平成 20 年 4 月 21 日～平成 25 年 4 月 20 日</p> <p>施業計画の認定番号 <u>北川町 20-401(変 1-21)</u> 平成 20 年 4 月 21 日～平成 25 年 4 月 20 日</p>
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u> ver. <u>4.1</u>
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">準拠の説明</th> <th style="width: 70%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する										
	準拠の説明	説明																	
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない																			
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない																			
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する																			
C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">モニタリングパラメータ</th> <th style="width: 35%;">モニタリングパターン</th> <th style="width: 50%;">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> <td>間伐時の周囲測量を使用する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> <td>「京都議定書 3 条 3 及び 4 の LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」で示された数値を使用している。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td>LYCS 収穫表作成システム(ヒノキ)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>文献名: 宮崎県長伐期施業指針 宮崎県民有林収穫表(スギ) 該当ページ: ~ ページ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS		<input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐時の周囲測量を使用する	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測		<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」で示された数値を使用している。	収穫予想表	<input checked="" type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	LYCS 収穫表作成システム(ヒノキ)	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 宮崎県長伐期施業指針 宮崎県民有林収穫表(スギ) 該当ページ: ~ ページ
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																	
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐時の周囲測量を使用する																	
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」で示された数値を使用している。																	
収穫予想表	<input checked="" type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	LYCS 収穫表作成システム(ヒノキ)																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 宮崎県長伐期施業指針 宮崎県民有林収穫表(スギ) 該当ページ: ~ ページ																	

C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオ(BLS)の特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)	
		森林を適切な状態に保つために必要な間伐が 2008 年以降に実施されていない状態	
		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
		データの信頼性・入手可能性 <input type="checkbox"/> 低い <input checked="" type="checkbox"/> 低くない	説明
		(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)	
		施業計画通りに実施しない可能性 <input type="checkbox"/> 可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	説明
		(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)	
		転用の可能性 <input type="checkbox"/> 可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	説明

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定	(温室効果ガス排出源・吸収源)	
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。	
	リーケージの種類	説明
	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	なし
	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	なし
	(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)	
	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明
	<input type="checkbox"/> 使用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	

C.5 排出量・ 吸収量の定 量化	C.5.1 不確か なデータの使 用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの使 用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使 用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使 用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリ ング対象とな らない排出 源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 モニタリ ングプロット の設置		<p>(モニタリングプロットの設定方法に関する記述)</p> <p>モニタリング方法ガイドラインに基づき、樹種、標高、地形、方位等の条件を考慮して、小林班ごとに、30haを基本にモニタリングプロットを設定した。</p> <p>57箇所</p> <p>なお、現地で設定したモニタリングプロットの位置は、杭を設置することでその位置がわかりようにする。</p> <p>(モニタリングプロットに対応した資料の準備)</p> <p>資料</p>						
C.7 備考								

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他				
D.1 関連する許認可及び関連法令	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p>			
			該当しない	該当する
	1	森林・林業基本法	<input type="checkbox"/>	<p>■第 9 条森林所有者としての責務</p> <p>□その他(具体的に:)</p>
	2	森林法	<input type="checkbox"/>	<p>■第 5 条地域森林計画</p> <p>□第 11 条森林施業計画</p> <p>□その他(具体的に:)</p>
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)	<input type="checkbox"/>	■
	4	種の保存法	■	<input type="checkbox"/>
	5	鳥獣保護法	<input type="checkbox"/>	■
	6	騒音規制法	■	<input type="checkbox"/>
	7	景観法	■	<input type="checkbox"/>
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	■	<input type="checkbox"/>
9	環境影響評価法	■	<input type="checkbox"/>	
D.2 ステークホルダー(森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	<p>当該プロジェクトにおいて対象となる森林は、全てプロジェクト代表者が J-VER の権利を有しステークホルダーはいない。</p> <p>延岡地区森林組合と長期森林管理施業委託契約を締結し、平成 20 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日まで森林施業管理を委託しているが、土地及び立木の所有権の全ては、プロジェクト代表者が有している。</p>			

D.3 その他特記事項	平成 23 年度以降、間伐前、間伐後における動植物の生育(影響)調査を行い、間伐における生物多様性の調査を計画している。
-------------	--